

MENU

SEARCH

INDEX

DETAIL

1/1



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number: 10302005

(43)Date of publication of application: 13.11.1998

(51)Int.Cl.

G06F 17/60
G07F 7/08
G09C 1/00

(21)Application number: 09112703

(71)Applicant: HOTSUTO CO:KK

(22)Date of filing: 30.04.1997

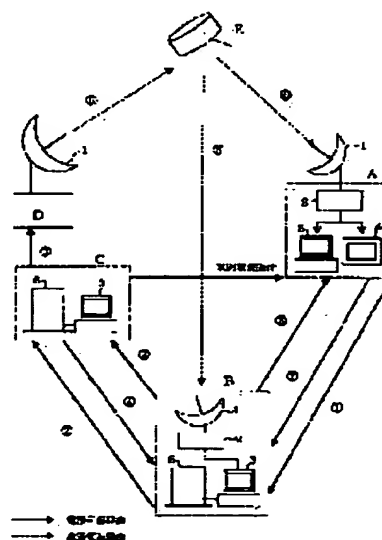
(72)Inventor: NATORI FUMIO

(54) ELECTRONIC COMMERCIAL TRANSACTION SYSTEM USING SATELLITE
BROADCASTING

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a system capable of improving a secret protection function and usability for credit processing, password transfer, etc., generated by an electronic commercial transaction by using both communication media through telephone lines and a broadcasting satellite.

SOLUTION: The system is organized by a user A ordering a commodity, a store B for selling commodities, a credit company C for executing user's credit inspection and a credit, a digital satellite broadcasting station D, and a broadcasting satellite E. Respective media are mutually connected through telephone lines and a broadcasting satellite, passwords for certifying the user A ordering a certain commodity and a credit user are distributed to the user A and the store B through digital satellite broadcasting to be a route different from a telephone line, and after mutually collating respective passwords, a transaction is executed.



LEGAL STATUS

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-302005

(43) 公開日 平成10年(1998)11月13日

(51) Int.Cl.⁸

識別記号

F I

G 0 6 F 17/60

G 0 6 F 15/21

3 3 0

G 0 7 F 7/08

G 0 9 C 1/00

6 6 0 B

G 0 9 C 1/00

6 6 0

G 0 7 F 7/08

R

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号

特願平9-112703

(22) 出願日

平成9年(1997)4月30日

(71) 出願人 597060449

有限会社ホットカンパニー

山梨県中巨摩郡昭和町河西628番の7

(72) 発明者 名執 文雄

山梨県中巨摩郡昭和町河西628番の7 有

限会社ホットカンパニー内

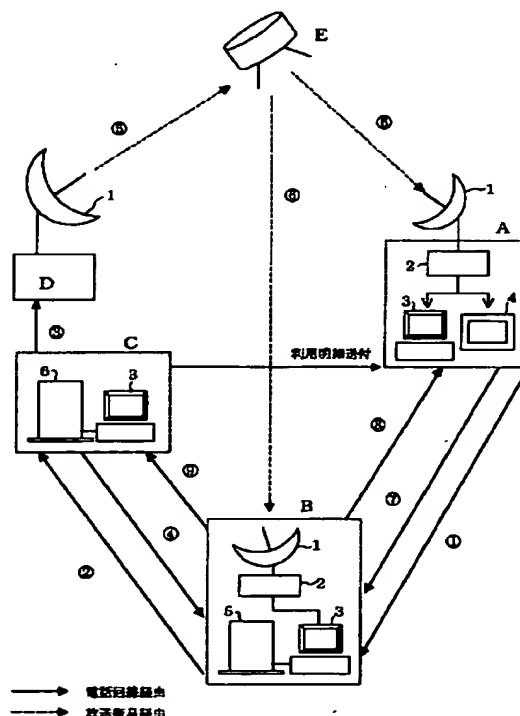
(74) 代理人 弁理士 浅川 哲

(54) 【発明の名称】 衛星放送利用による電子商取引システム

(57) 【要約】

【課題】 電話回線経由及び放送衛星経由からなる通信メディアを併用し、電子商取引上発生するクレジット処理やパスワード転送等における機密保護機能及び利用性を高めるシステムを提供すること。

【解決手段】 商品を注文するユーザーA、商品を販売する商店B、ユーザーの信用調査及びクレジットを取り扱う信販会社C、デジタル衛星放送局D、及び放送衛星Eとで組織され、それぞれが電話回線経由及び放送衛星経由で相互接続し、商品を注文するユーザーAとクレジットユーザーとを認証するためのパスワードを、電話回線経由とは別ルートであるデジタル衛星放送を介してユーザーA及び商店Bに配信し、相互のパスワードを照合した上で取引を行う。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 インターネット上で商談を行う電子商取引システムにおいて、

商品を注文するユーザー、商品を販売する商店、ユーザーの信用調査及びクレジットを取り扱う信販会社、デジタル衛星放送局、及び放送衛星により組織され、それぞれが電話回線経由及び放送衛星経由で相互接続されたことを特徴とする衛星放送利用による電子商取引システム。

【請求項2】 前記商取引において、商品を注文するユーザーとクレジットユーザーとを認証するためのパスワードを、電話回線経由とは別ルートであるデジタル衛星放送を介してユーザー及び商店に配信し、相互のパスワードを照合した上で取引することを特徴とする請求項1記載の衛星放送利用による電子商取引システム。

【請求項3】 前記デジタル衛星放送受信用のID番号と、クレジット番号とが記憶された1枚のカードで衛星放送の受信とクレジットカード決済とが同時に行えることを特徴とする請求項1記載の衛星放送利用による電子商取引システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、インターネット及び衛星放送を利用した電子商取引システムに関する。

【0002】

【従来の技術】電話回線経由（インターネット）で商品の注文を受け、クレジットカードによって料金を支払う電子商取引が現在広く行われている。これは、インターネット上で接続されているコンピュータであれば、実際に店舗に足を運ぶことも、現金のやり取りを行うこともなく、誰でも自由にインターネット上に展開された仮想商店（バーチャルショップ）上のカタログを見て希望の商品を購入できるものである。

【0003】実際の注文方法は、ユーザーがインターネット上に展開されたバーチャルショップのカタログを見て希望商品を選ぶ。そして、希望商品名、希望商品番号、ユーザーの住所、氏名、電話番号、クレジットカード番号、その他必要に応じて個人情報等を所定の欄に記入し、電子メールで仮想商店側のコンピュータサーバーに転送する。仮想商店側では、転送されてきた電子メールを確認し、クレジットの信販会社に問い合わせ後、希望商品を注文したユーザーに発送する。その後、信販会社からユーザーに利用明細書を送付して、実際にユーザーが料金を支払うという方法が一般的である。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記従来の技術ではクレジットカードを盗用された等で、その盗用したクレジットカード番号を利用して商品を注文した人と、実際のクレジットカード登録者とが相違している場合もある。このような場合、正規のクレジットカー

ド登録者に不正な支払請求が行くこととなり、多大な損害を受ける。

【0005】また、インターネットという全世界的なネットワーク網を使用し、誰でも簡単に侵入できることで、ハッカーによるハッキングが可能で、送信したクレジットカード番号が盗まれる危険性があり、必ずしも安全なシステムとはいえない。

【0006】また、すべて電話回線を使用しているため、接続時間、接続距離に応じて通信費が高くなり、回線の使用状態によっては、通信速度が遅くなることもある。

【0007】そこで本発明は、従来の電話回線を用いたインターネットによる注文販売ルートに加えて、ユーザーごとに固有なID番号を割り当てられたデジタル衛星放送という別ルートを通して、注文単位毎のパスワードを信販会社がユーザー及び商店に発行することで、インターネット上で発生する危険のある第三者による個人情報又はクレジット番号の盗聴等による不正取引を防止するシステムを提供するものである。

【0008】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するために、本発明の請求項1に係る衛星放送利用による電子商取引システムは、商品を注文するユーザー、商品を販売する商店、ユーザーの信用調査及びクレジットを取り扱う信販会社、デジタル衛星放送局、及び放送衛星とで組織され、それぞれが電話回線経由及び放送衛星経由で相互接続されたことを特徴とする。

【0009】また、本発明の請求項2に係る衛星放送利用による電子商取引システムは、前記商取引において、商品を注文するユーザーとクレジットユーザーとを認証するためのパスワードを、電話回線経由とは別ルートであるデジタル衛星放送を介してユーザー及び商店に配信し、相互のパスワードを照合した上で取引することを特徴とする。

【0010】また、本発明の請求項3に係る衛星放送利用による電子商取引システムは、前記デジタル衛星放送受信用のID番号と、クレジット番号とが記憶された1枚のカードで衛星放送の受信とクレジットカード決済とが同時に行えることを特徴とする。

【0011】

【発明の実施の形態】以下添付図面に基づいて本発明に係る衛星放送利用による電子商取引システムの実施の形態を詳細に説明する。図1は本発明に係る電子商取引システムの概念図を示したものであり、ユーザーA、商店B、信販会社C、デジタル衛星放送局D、放送衛星Eの大きく分けて5つの組織が電話回線経由あるいは放送衛星経由からなる通信網の中に置かれている。ユーザーAは、受信アンテナ1と、衛星放送受信機（IRD）及び衛星放送受信用のIDカードからなる衛星放送受信システム2と、インターネットに接続可能なコンピュータ

システム3あるいは、衛星放送受信可能なテレビ4とを有する。商店Bは、受信アンテナ1と、衛星放送受信機及び衛星放送受信用のIDカードからなる衛星放送受信システム2と、インターネットに接続可能なコンピュータシステム3の他に、ユーザーからの商品注文データ、在庫データ等の情報が記憶された専用のサーバー5を有する。信販会社Cは、インターネット上に接続されたコンピュータシステム3と、主にクレジットユーザーの個人情報情報が記憶された専用のサーバー6を有する。デジタル衛星放送局Dは、信販会社Cのコンピュータシステムと専用回線で接続され、放送衛星に向けてパスワードを発信する。放送衛星Eは、デジタル衛星放送局Dから発信されたパスワードを受信IDごとに振り分けユーザーA及び商店Bに配信する。

【0012】図2及び図3は、上記図1に示した構成の動作説明に供するフローチャートであり、図2は、ユーザーAの商品注文から放送衛星Eにパスワードを発信するまでのフローを示し、図3は、放送衛星Eからパスワードを配信し、照会した後、商品発送及びクレジット処理を行うまでの処理手順を示したものである。

【0013】次に、図1に示す本発明の実施例の動作を図2及び図3を参照して説明する。

【0014】まず、ユーザーAはコンピュータ端末あるいはインターネットが利用できるテレビを利用して電話回線経由でインターネットにアクセスし、希望する商品のある仮想の商店Bを選び、商品カタログを参照する。ここで、購入する商品が決まったら、申し込み欄に希望商品名、商品番号、住所、氏名、電話番号等その他の個人情報と、クレジットカード番号を記載し、電子メールで仮想の商店Bのアドレスに転送する。続いて、衛星放送受信機に衛星放送受信用のIDカードを挿入し、衛星放送が受信可能な状態にしておく。

【0015】商店Bでは前記ユーザーAから転送された商品注文書が専用コンピュータサーバーに蓄積され、同時に前記注文書に添付された個人データをサーバー経由で信販会社Cに転送し、信用調査依頼を行う。

【0016】信販会社Cでは送られた個人データを基に信用調査を行い、問題がなければ前記注文された商品別の専用パスワードを割り当て、デジタル衛星放送局に専用回線経由で転送する。信用調査の結果取り扱い上問題があると判断された場合は、その結果を商店Bに報告すると同時に、ユーザーAの端末画面上に取り引き不能であるとのメッセージが表示され、それ以後の処理は中断される。

【0017】デジタル衛星放送局Dは、前記割り当てられたパスワードを、放送衛星Eを介して、ユーザーA及び商店Bの衛星放送受信機に向けてパスワードを発信する。

【0018】ユーザーA及び商店Bの衛星放送受信機は、各ユーザーごとに割り当てられたID番号を認証

し、スクランブルを解除した後、配信されたパスワードを確認する。そして、ユーザーAは、注文した商品購入意志の確認として、前記パスワードを商店Bのサーバーに再度転送する。

【0019】商店Bでは放送衛星Eから直接配信されたパスワードと、前記ユーザーAから転送されてきたパスワードを照合し、両者が一致していた場合にのみ商談が成立したものとみなし、注文を受けた商品をユーザーAに発送する。また、信販会社Cのサーバーにも商店Bからの商談成立の連絡が入り、クレジットの取り扱い処理を開始する。その後、ユーザーAに利用明細書が発送され、ユーザーAが料金を支払うことで一連の電子商取引が完了する。

【0020】以上のような電話回線経由及び放送衛星経由という2種類の異なった通信メディアを使用し、さらに、クレジットカード決済も同時に実現するには、衛星放送受信機用のIDカードとクレジットカードを常に携帯し、使い分けなければならない。このような不便を解消するためのものが、図4に示したようなICカードである。現在、衛星放送受信機用のカードにはIC(ROM)が組み込まれ、その中にはID番号が記憶されている。このROM部をクレジットカードにも取り入れ、衛星放送受信機用のID番号と共にクレジット認証番号をROMに記憶させたものである。ユーザーは、このICカード一枚を衛星放送受信機のカードスロットに挿入すると、衛星放送受信機が衛星放送受信用のID番号を認証し、スクランブル解除することで行う衛星放送の受信と、上記電話回線及び放送衛星を利用したホームショッピングによるクレジットカード決済を同時に行うことができる。また、従来では番組やシリーズ単位で視聴料を払うペイ・パー・ビューの決済は、電話回線通話料金という方法で行われているが、クレジットカードと一体化されたICカードを利用することでカードによる決済が可能となる。一方、ウィンドウショッピングの時は、カードの裏面に磁気記憶方式で記憶されたカード番号を認証することで、従来どおりのクレジットカードとして利用することができる。このように、一枚のカードに集約するものとしては、前記の他、衛星放送受信IDと電子マネー、衛星放送受信IDとサイバーキャッシング等の組み合わせが考えられる。

【0021】

【発明の効果】以上説明したように、本発明に係る衛星放送利用による電子商取引システムによれば、従来の電話回線経由による電子商取引と、衛星放送を利用したデータ伝送を融合させたことで、商品注文及び信用調査は電話回線経由で、確認用のパスワードは衛星放送経由でというように2つのルートを使い分けられ、クレジットカード番号やパスワードの盗聴や料金の不正請求等による電子商取引上のトラブルが解消できるという効果が得られる。

【0022】また、衛星放送受信用のID番号認証とクレジットカード機能を統合したICカードを採用することで、衛星放送の番組視聴から有料放送視聴料金やホームショッピングによるクレジットカード決済が可能となる効果が得られる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例を示すシステム構成図である。

【図2】図1に示した本実施例の動作説明に供するフローチャートである。

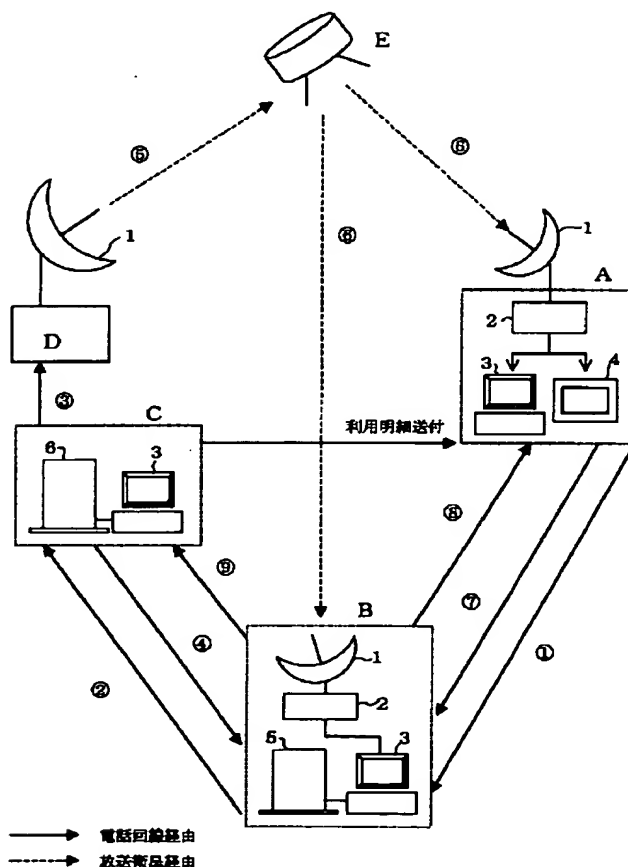
【図3】図1に示した本実施例の動作説明に供するフローチャートである。

【図4】衛星放送受信用のID番号とクレジット番号とを一体化したカードの構成例である。

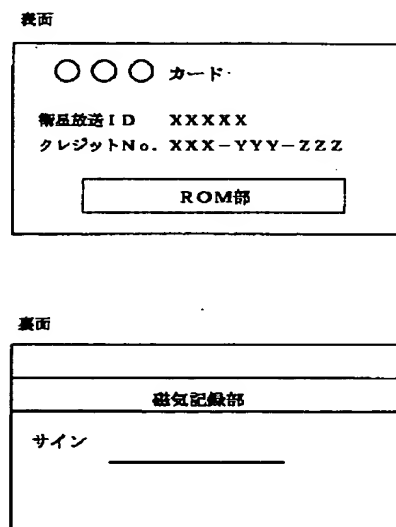
【符号の説明】

- A ユーザー
- B 商店
- C 信販会社
- D デジタル衛星放送局
- E 放送衛星
- ① 商品注文
- ② 信用調査依頼
- ③ パスワード発行
- ④ 信用調査結果
- ⑤ パスワード送信
- ⑥ パスワード配信
- ⑦ パスワード転送
- ⑧ 商品発送
- ⑨ クレジット依頼

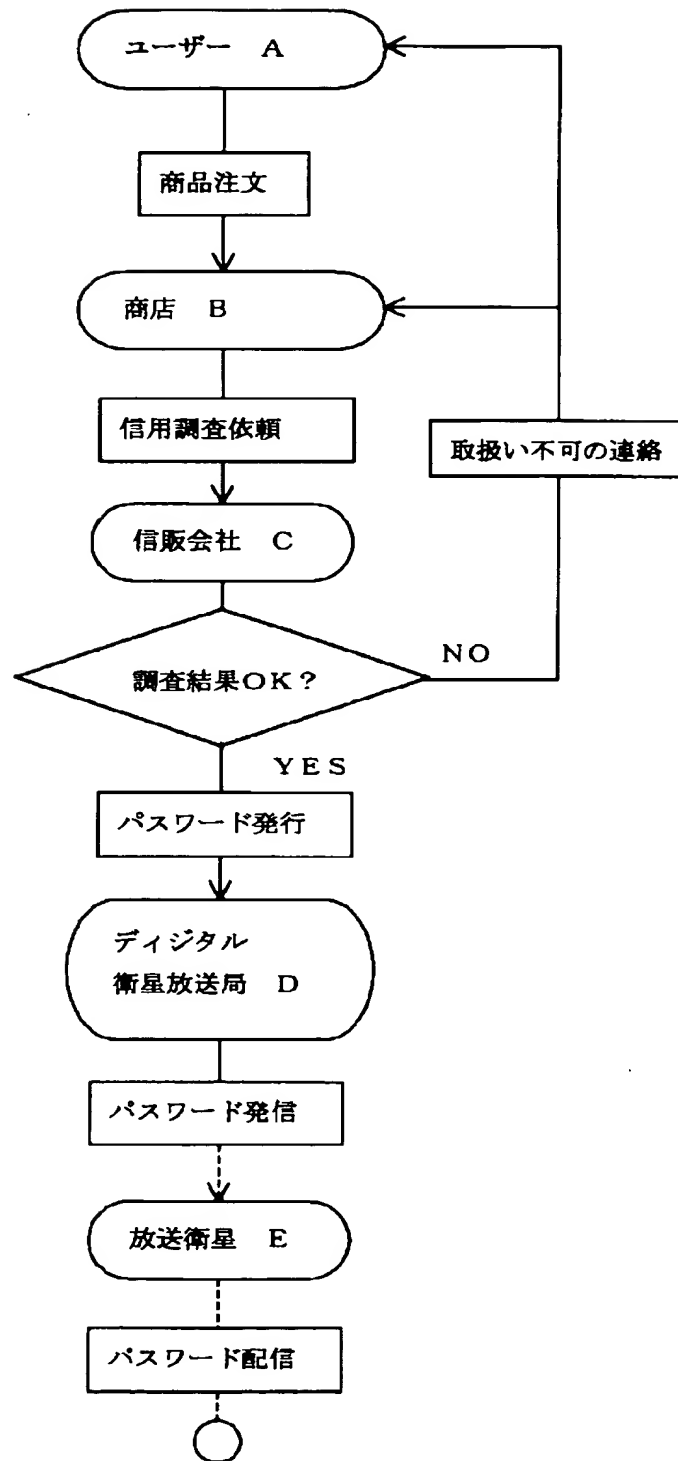
【図1】



【図4】



【図2】



【図3】

パスワード配信

